

しらおか歴史物知りシート

No.1-1

こもれびの森・歴史資料展示室

【貝塚の秘密?!】

市内には、貝塚を伴う遺跡が少なくとも3遺跡知られています。一つは、市指定史跡となっている正福院貝塚（縄文時代前期）、もう一つは、岡泉にある本田下遺跡（縄文時代中期）、そして展示でもお示した清左衛門遺跡（縄文時代後期）です。このほかにも、いくつかの遺跡で昔貝塚があったとかあったらしいという情報がありますので、今後も増える可能性があります。

「貝塚」というと「縄文人のゴミ捨て場」というイメージが強いと思いますが、貝塚には、人や狩りのパートナーである犬が葬られたり、まじないが行われた形跡が残されたりしています。

このことから、貝塚は、命が尽きたり役目を終えたものを集め、その再生を祈ったり、「神」のもとへ魂をかえす儀式を行ったりする場所だったと考えたほうが理解しやすいのです。

貝塚では、貝から染み出すカルシウム分が有機質の分解を遅らせるため、通常では残りにくい動植物の痕跡がたくさん残されます。清左衛門遺跡の発掘調査では、貝塚から出てきた土を全部持ち帰り、水洗しふるいに掛けるなどして分析しました。

その結果、非常にたくさんの動物の骨や貝殻、植物の種子、炭化した木片などが見つかりました。魚類では、コイ、ドジョウ属、ナマズ属などの淡水魚のほか、アカエイ、タイ科、スズキ属などの海や河口に住む魚が、鳥類ではガンカモ類、哺乳類では、イノシシ、ニホンシカのほか、イヌ、ノウサギ、ハタネズミなどが確認されました。これらの骨の中には、焼かれたものや、解体時に付いた傷のあるものなどもあり、確実に縄文人が「食べた」ことを裏付けるものといえます。



①



②

- ① : コナラ亜属・花粉
 - ② : アカガシ亜属・花粉
 - ③ : キハダ・種子
 - ④ : ブドウ属・種子
 - ⑤ : クマノミズキ・核
 - ⑥ : スゲ属・果実
 - ⑦ : スゲ属・果実
 - ⑧ : カラムシ属・果実
- (縮尺不同)



③



④



⑤



⑥



⑦

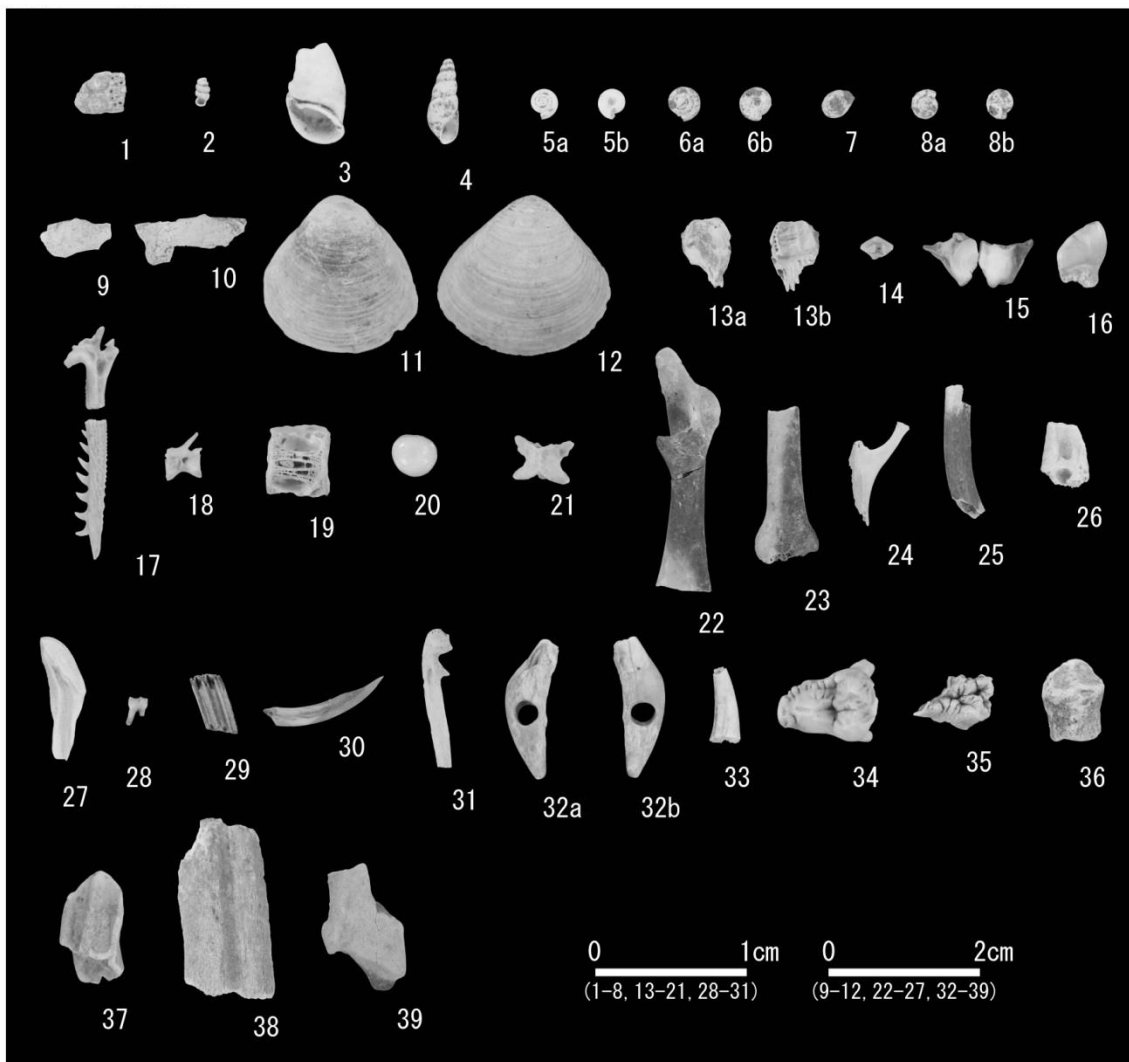


⑧

こうした、動植物の遺体は、土器や石器からではわからないさまざまな情報をもたらしてくれます。

たとえば、遺跡の土壌に含まれていた植物の花粉や種や実を調べることで、どのような草木が生えていたのかがわかります。さらにその草木が好む環境と照らし合わせることで、当時の気温や乾燥の度合いなどがわかり、一緒に生える可能性のある植物や生息していた昆虫などを類推できるのです。

左の図に、カラムシ属の種子があります。カラムシは、茎から繊維をとり織物を作ることができます。推測の域を出ませんが、清左衛門遺跡に暮らした人々が、織物をしていたとしてもおかしくないのです。



- | | |
|---|---|
| 1. ウニ類殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) | 2. ヒダリマキゴマガイ殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) |
| 3. キセルガイ科殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) | 4. オカチョウジガイ殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) |
| 5. コハクガイ科殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) | 6. パツラマイマイ殻 (SE7;SK363 2012. 5. 18) |
| 7. キビガイ殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) | 8. ウラジロベッコウマイマイ殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) |
| 9. ニッコウガイ科左殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) | 10. ニッコウガイ科右殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) |
| 11. シジミ類左殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) | 12. シジミ類右殻 (SE7;SK363 2012. 5. 23) |
| 13. フジツボ類殻 (SE7;SK363 2012. 5. 16) | 14. アカエイ科歯牙 (SE7;SK363 2012. 5. 18) |
| 15. コイ科第1椎骨? (SE7;SK363 2012. 5. 16) | 16. コイ科?咽頭骨 (SE7;SK363 2012. 5. 14) |
| 17. ドジョウ属腹椎 (SE7;SK363 2012. 5. 16) | 18. ナマズ属胸鰭棘 (SE7;SK363 2012. 5. 16) |
| 19. スズキ属尾椎 (SE7;SK363 2012. 5. 16) | 20. タイ科歯牙 (臼歯) (SE7;SK363 2012. 5. 16) |
| 21. ヘビ類椎骨 (SE7;SK363 2012. 5. 16) | 22. カモ科左鳥口骨 (SE7;SK363 2012. 5. 23) |
| 23. カモ科?左尺骨 (SE7;SK363 2012. 5. 23) | 24. 鳥類肋骨 (SE7;SK363 2012. 5. 16) |
| 25. 鳥類?橈骨? (SE7;SK363 2012. 5. 23) | 26. 鳥類右脛足根骨 (SE7;SK363 2012. 5. 16) |
| 27. ノウサギ?歯牙 (SE7;SK363 2012. 5. 16) | 28. ネズミ亜科歯牙 (SE7;SK363 2012. 5. 16) |
| 29. ハタネズミ亜科右上顎第2後臼歯 (SE7;SK363 2012. 5. 18) | 30. ネズミ科右下顎第1門歯 (SE7;SK363 2012. 5. 23) |
| 31. ネズミ科右尺骨 (SE7;SK363 2012. 5. 16) | 32. イヌ科犬歯 (SE7;SK363 2012. 5. 16) ペンダントに加工 (展示中) |
| 33. イヌ科?犬歯 (SE7;SK363 2012. 5. 16) | 34. イノシシ右上顎第2乳歯 (SE7;SK363 2012. 5. 18) |
| 35. イノシシ歯牙 (SE7;SK363 2012. 5. 18) | 36. イノシシ第2/5中節骨 (SE7;SK363 2012. 5. 14) |
| 37. ニホンジカ歯牙 (SE7;SK363 2012. 5. 14) | 38. ニホンジカ中手骨/中足骨 (SE7;SK363 2012. 5. 14) |
| 39. ニホンジカ?角? (SE7;SK363 2012. 5. 18) | |

上の写真は、清左衛門遺跡の貝塚から出土した主な動物遺体です。1～10は陸生貝で、残滓を食べて集まったものです。11以降が、縄文人がとったものと考えられます。

タイやスズキ、カモやノウサギ、イノシシやシカなどという、ずいぶん贅沢な食卓が想像されますが、おそらく、いつもこのような獲物がとれたわけではないでしょう。むしろ、めったにとれない獲物だからこそ、再び恵みをもたらしてくれるよう、感謝の祈りを込めて神の世界に帰したのでしょう。